



令和3年度 文化庁文化芸術創造拠点形成事業

2021年
10月1日〔金〕—10日〔日〕
越前陶芸村（越前古窯博物館、陶芸公園、文化交流会館、草月陶房）

【主催】福井県・国際工芸サミットプロジェクトチーム 【協力】一般財団法人草月会・草月文化事業株式会社・草月陶房・草月会福井県支部
【後援】越前町、福井新聞社、FBC、福井テレビ、FM福井

勅使河原宏 芸術祭

没後20年特別企画

いけばなに形を与えてはいけない、
いけばなはその時代時代に、その形をあらたに持つものである。

福井の自然を愛した芸術家、勅使河原宏。

いけばな草月流第三代家元で陶芸・映画監督・絵画・書など幅広い芸術活動を行った勅使河原宏。彼に多大な影響を与えたのが福井という土地でした。ここで土と出会い陶芸を始めたことで、映画「利休」「豪姫」へつながり、豪雪に耐える竹の姿から壮大な竹のインスタレーションが生まれ出されました。そんな勅使河原宏が過ごした越前陶芸村で、没後20年を記念して各種イベントを実施します。



①草月陶房公開

勅使河原宏の作庭した庭や、懐かしい陶芸作品と薪窯を公開します。

【日時】10月1日(金)～10日(日)

10時～16時30分

【場所】草月陶房

【料金】無料



②勅使河原茜スライドトーク&デモンストレーション

草月流第四代家元・勅使河原茜がスライドとともに父・宏との思い出や自身の作陶について語るトークショーが第1部。第2部は、宏と自身の越前焼の花器に色彩の秋を彩るデモンストレーションを行います。

【日時・場所】10月2日(土) 14時～16時
越前陶芸村文化交流会館

【料金・定員】2,000円／人 【定員】300名
※要事前予約



※事前予約(電話、FAX、メール、ハガキ) 締切:9月10日(金)

[連絡先] 福井県陶芸館 吉岡、井上

[連絡事項] 氏名、住所、電話番号、来場方法(バス利用の有無)をお知らせください

[申込方法] TEL:0778-32-3262 FAX:0778-32-2240

E-mail:tougeikan@pref.fukui.lg.jp

〒916-0273 福井県丹生郡越前町小曾原120-61

③竹のインスタレーション

草月本部のアトリエ制作スタッフが陶芸公園の広場に芸術祭のシンボルとなる竹のインスタレーションを制作し来場者をお迎えします。草月福井県支部の竹のオブジェも展示されます。

【日時】10月1日(金)～10日(日)

【場所】陶芸公園芝生広場

【料金】観覧無料



※作品はイメージです。

⑤陶芸・いけばなワークショップ

「古民家いけばな展」の鑑賞後、お立ち寄りください。

【日時】

陶芸：10月9日(土) ①13時～②15時～

いけばな：10月10日(日) ①11時～②13時～③15時～

【場所】越前古窯博物館 天心堂

【料金】無料 【定員】各10名



④古民家いけばな展

江戸末期に建てられた古民家(国登録有形文化財)の四つ目和室や庭などを舞台に、草月福井県支部による越前焼の花器を使用したいけばながお楽しみいただけます。

【日時】前期：10月1日(金)～3日(日)

後期：10月8日(金)～10日(日)

【場所】越前古窯博物館 旧水野家住宅

【料金】無料



※作品はイメージです。

⑥映画上映

勅使河原宏が監督した映画「利休」と「豪姫」を上映。圧巻の映像美をご堪能ください。

【日時】

10月2日(土) 10時より「利休」／14時より「豪姫」

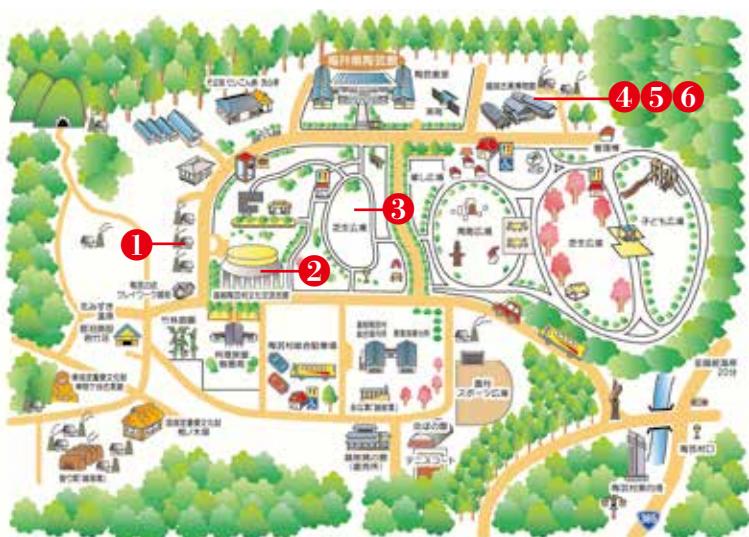
10月3日(日) 10時より「豪姫」／14時より「利休」

【場所】越前古窯博物館 天心堂

【料金】無料 【定員】1回あたり40名



©1989 松竹株式会社
©1992「豪姫」製作委員会



越前陶芸村

福井県丹生郡越前町小曾原120-61

[お問い合わせ] 福井県陶芸館 吉岡、井上
TEL: 0778-32-3262 / FAX: 0778-32-2240
E-mail: tougeikan@pref.fukui.lg.jp



【鉄道等】JR武生駅下車→路線バス(武生・越前海岸線かれい崎行き 越前陶芸村口下車)※ただしバスは本数が少なく停留所も遠いため、タクシーのご利用をお勧めします(片道4,000円程度)。※10月2日(土)は、バス利用希望の状況によって、貸切ジャンボタクシーを手配する可能性があります。

【自動車】北陸自動車道 武生IC、鯖江ICより約30分